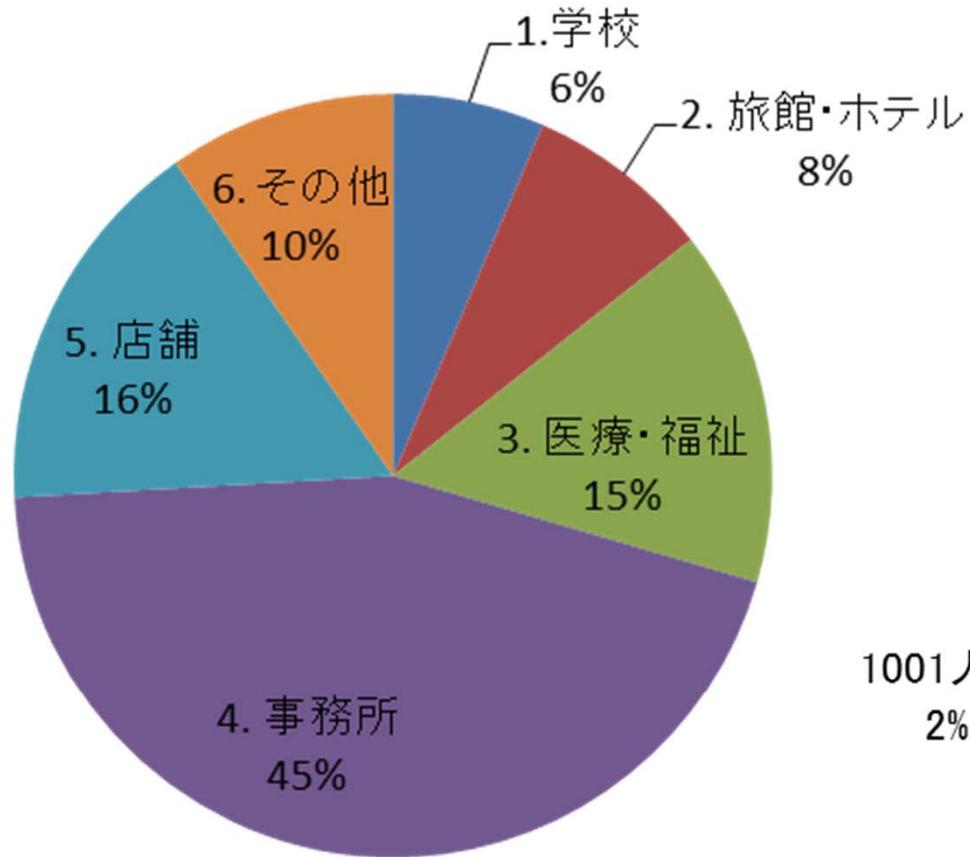


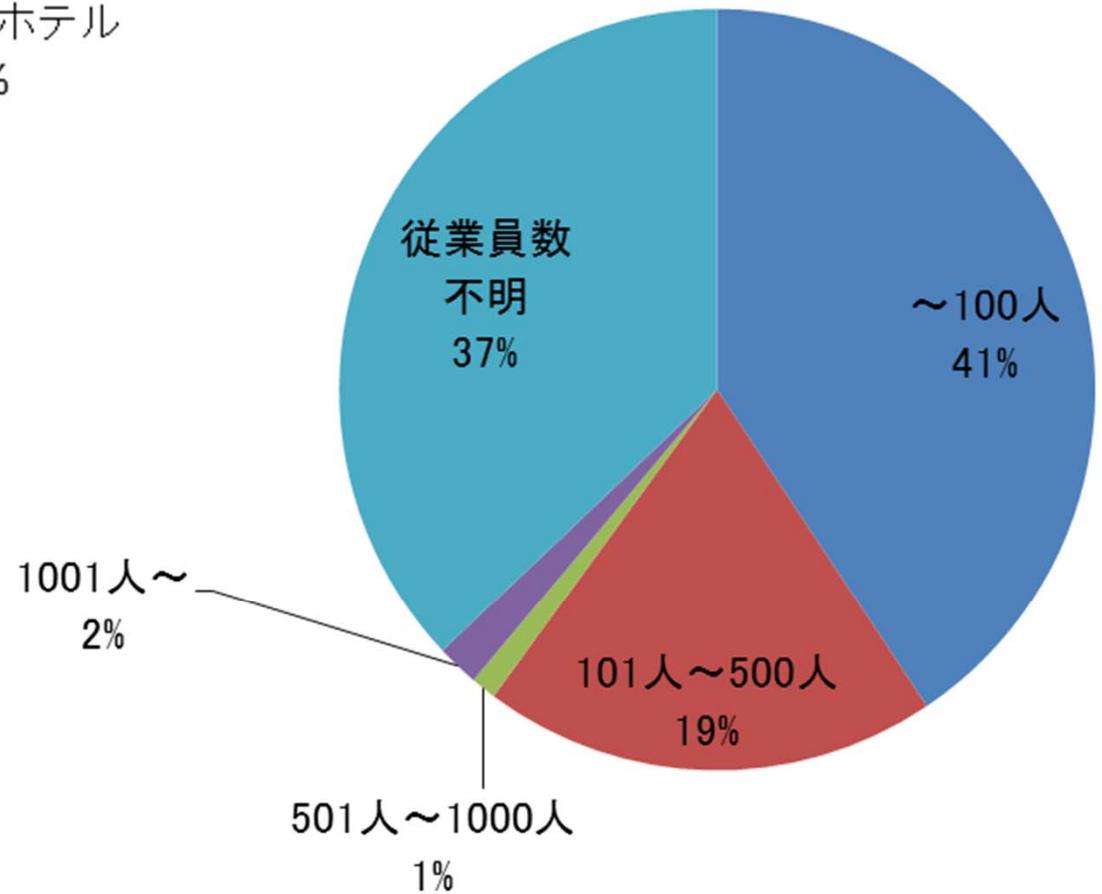
「BEMS」導入に関するアンケートの分析

アンケート回答者について(回答者の分布)

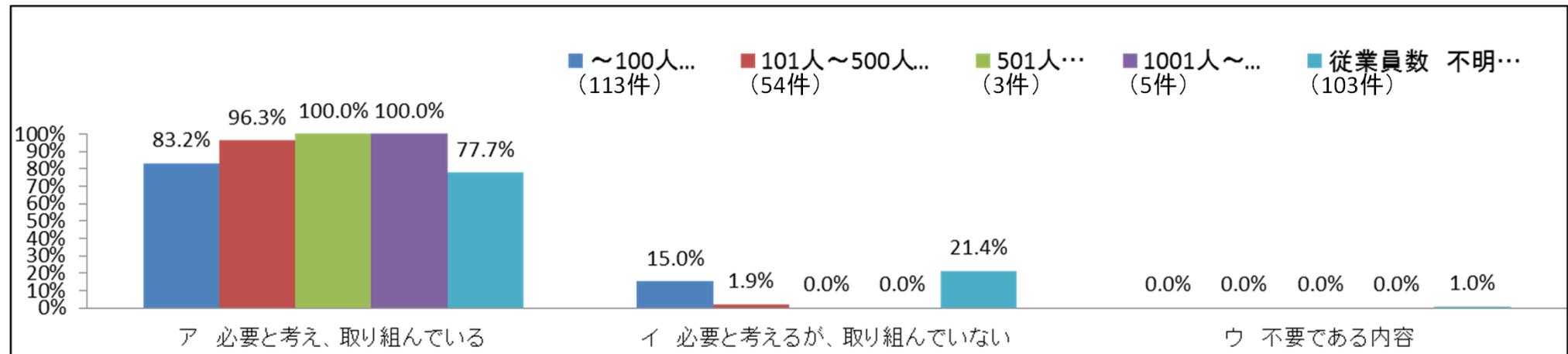
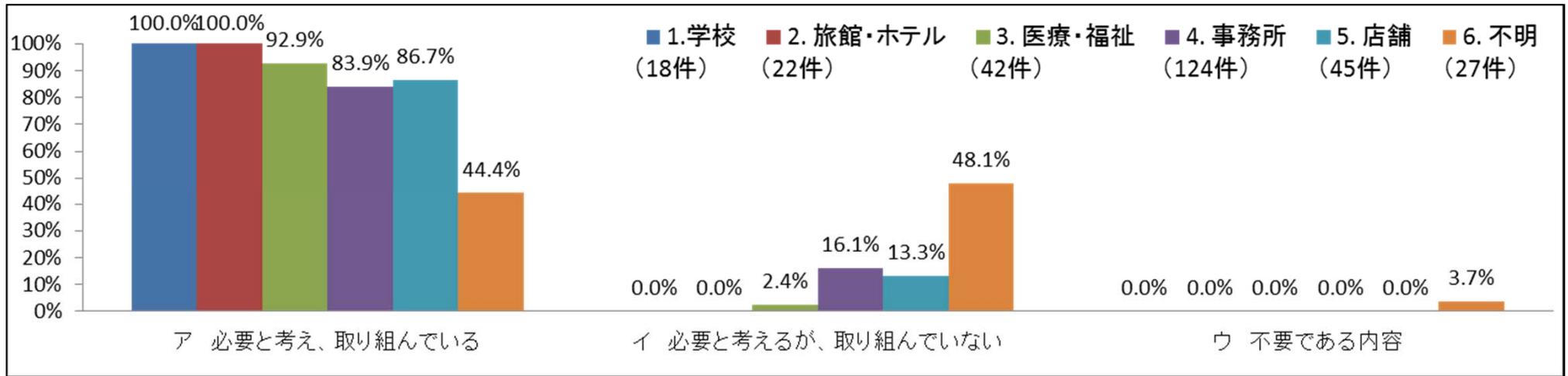
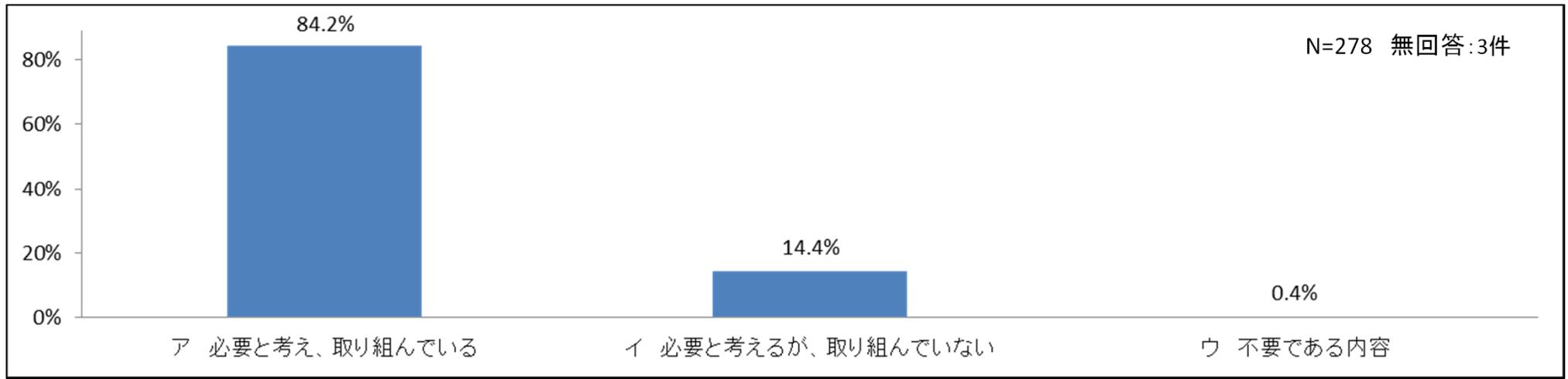
業種別分布



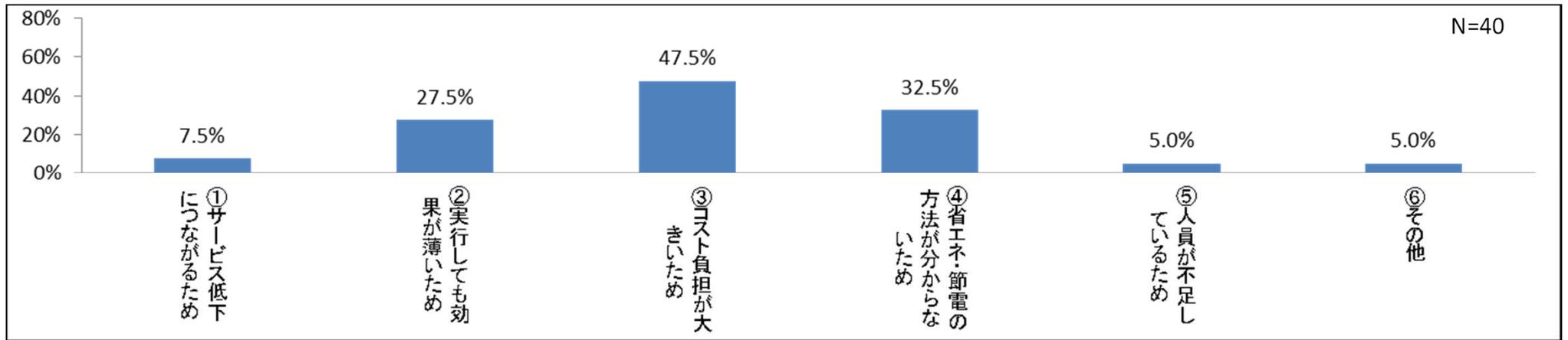
従業員別分布



省エネ・節電の取組みについて

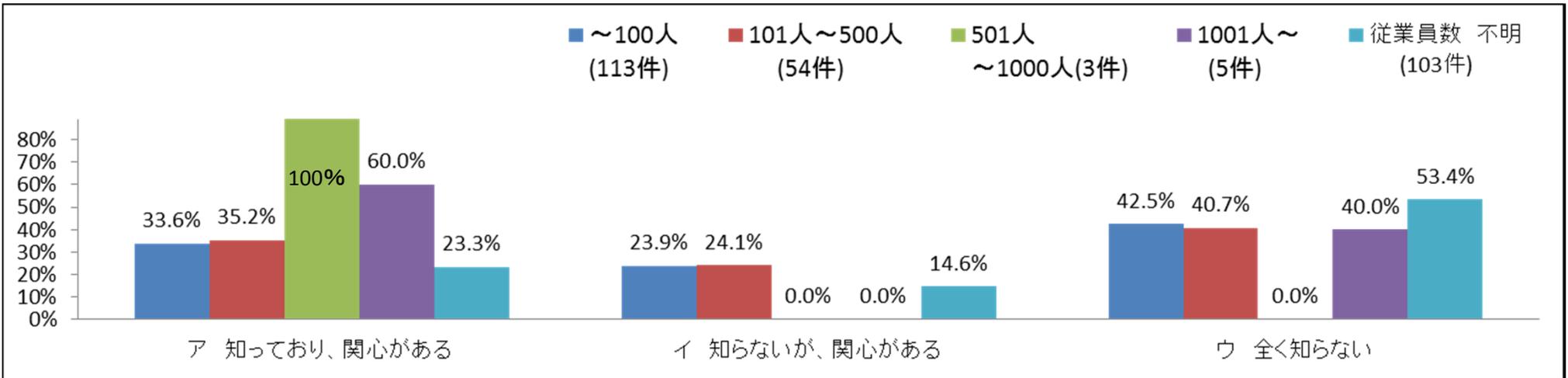
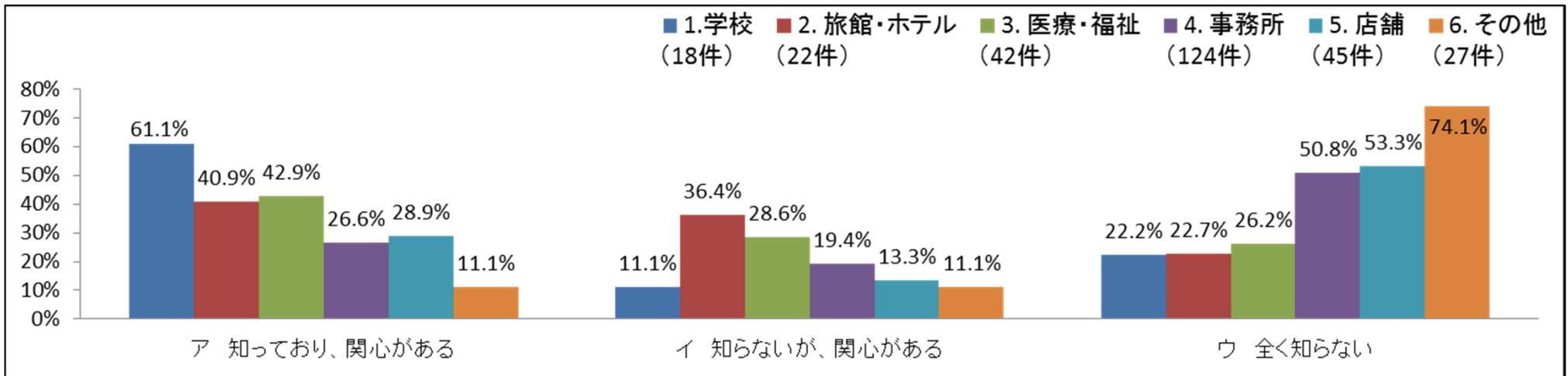
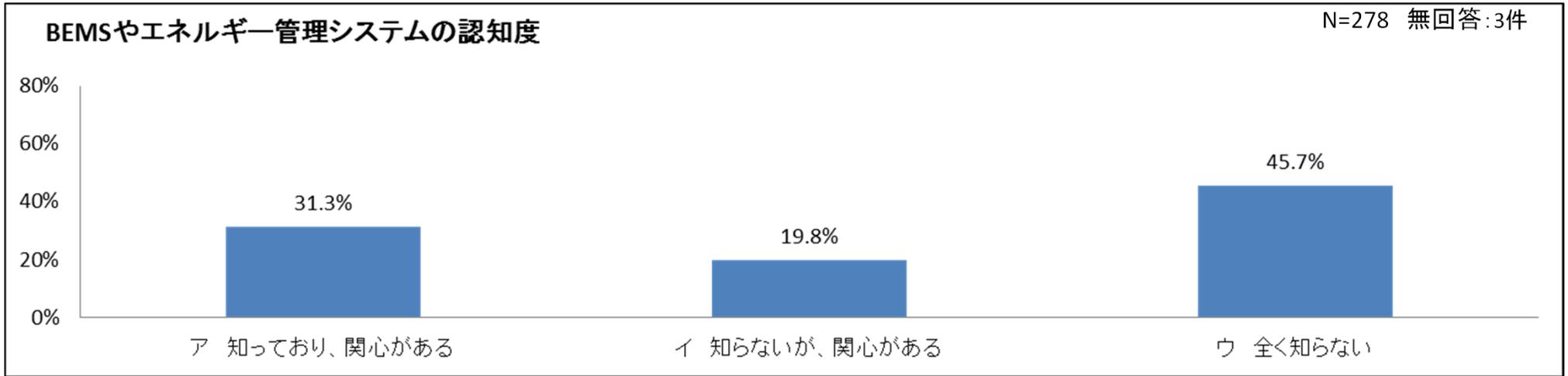


省エネ・節電に対して、必要と考えるが、取り組んでいない理由

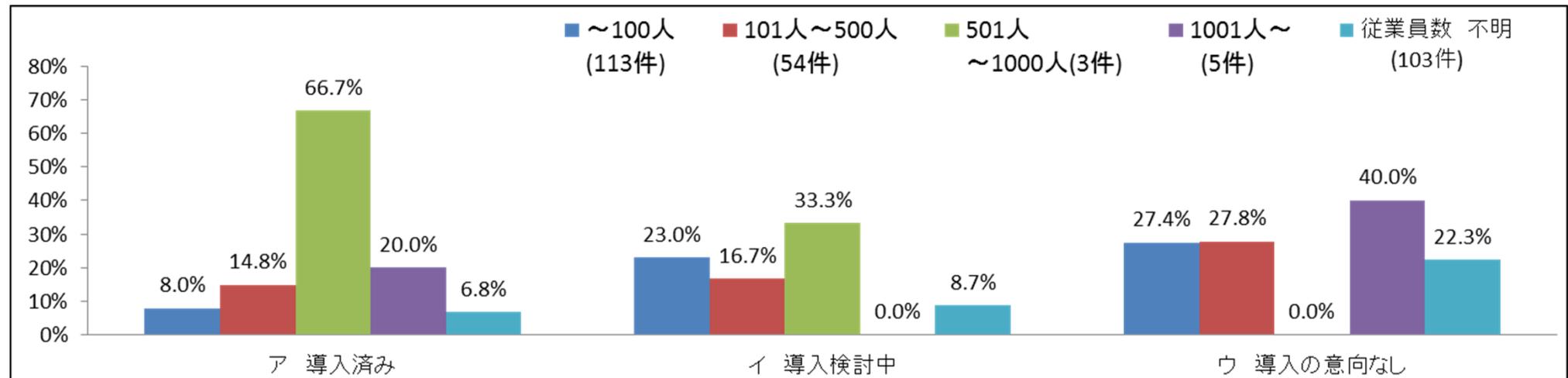
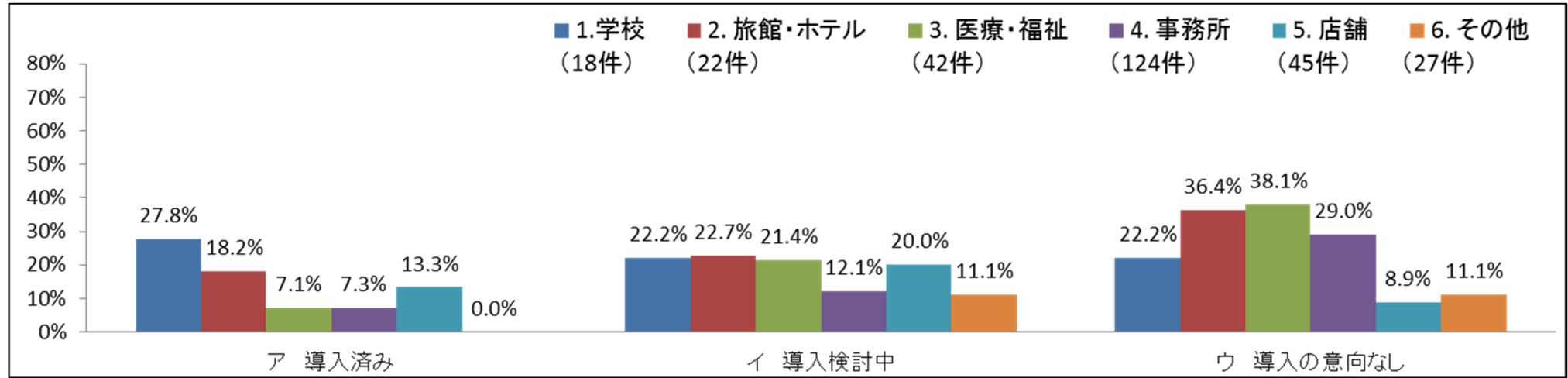
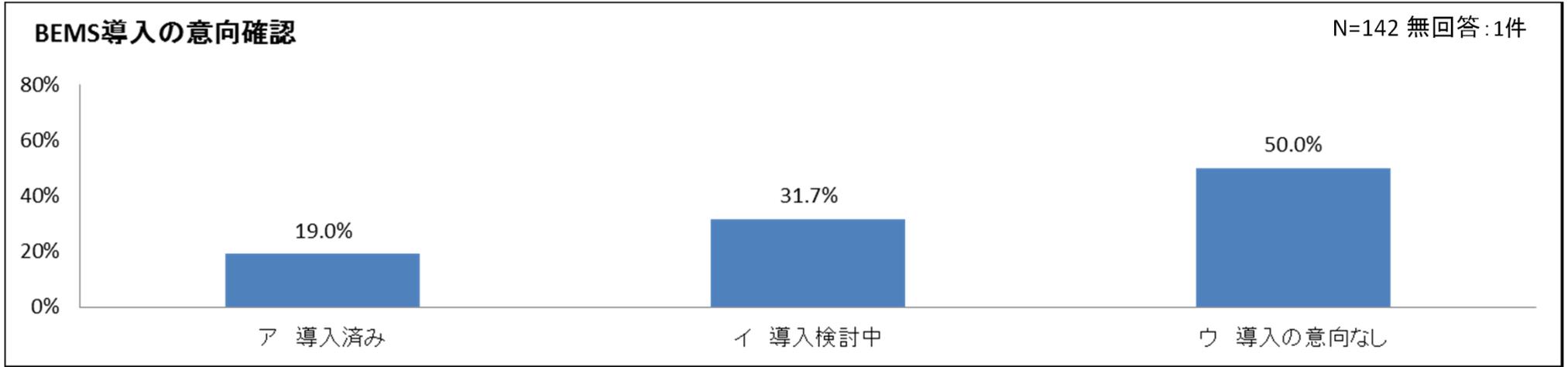


	業種別						従業員別				
	学校	旅館・ホテル	医療・福祉	事務所	店舗	その他	～100人	101人～500人	501人～1000人	1001人～	従業員数不明
母数(n)	18	22	42	124	45	27	113	54	3	5	103
①サービス低下につながるため	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
②実行しても効果が薄いため	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	2.2%	11.1%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%
③コスト負担が大きいため	0.0%	0.0%	2.4%	6.5%	6.7%	25.9%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%
④省エネ・節電の方法が分からないため	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	4.4%	14.8%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%
⑤人員が不足しているため	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	2.2%	0.0%	0.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%

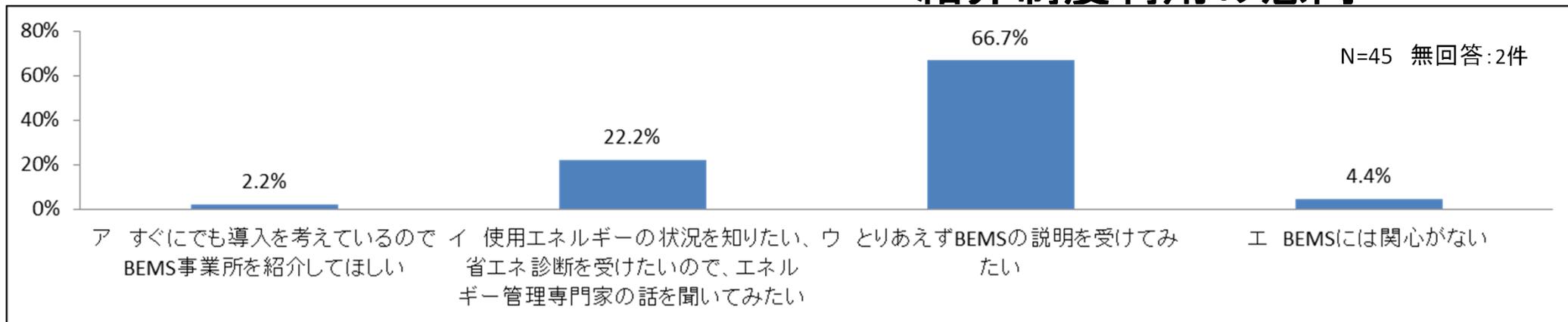
BEMSやエネルギー管理システムの認知度



BEMS導入の意向確認

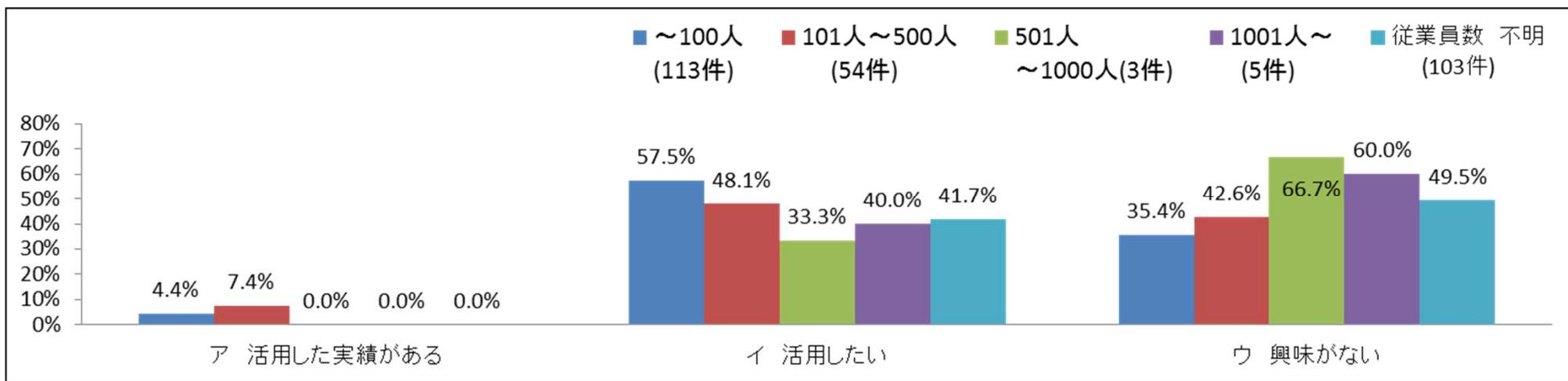
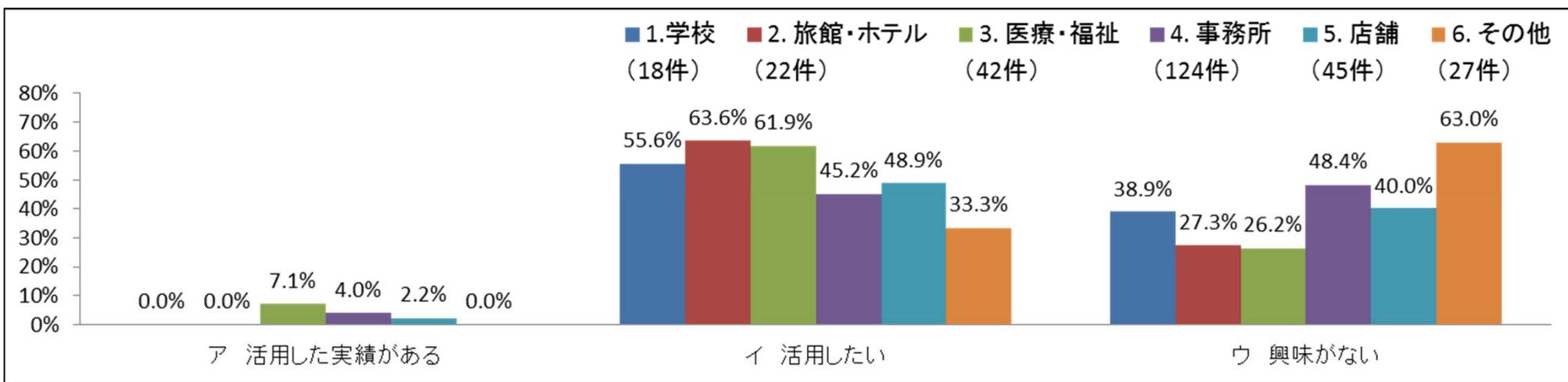
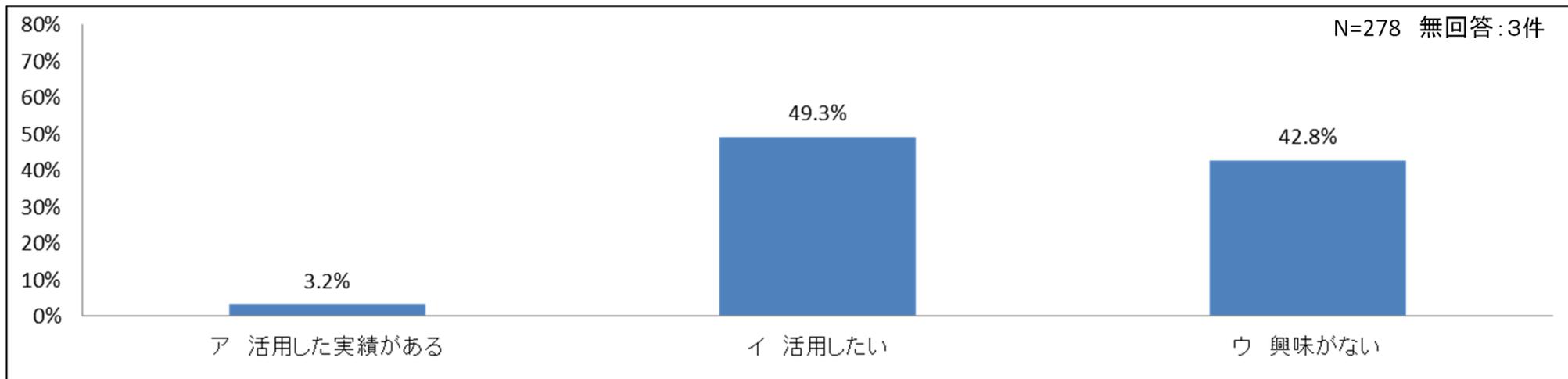


紹介制度利用の意向

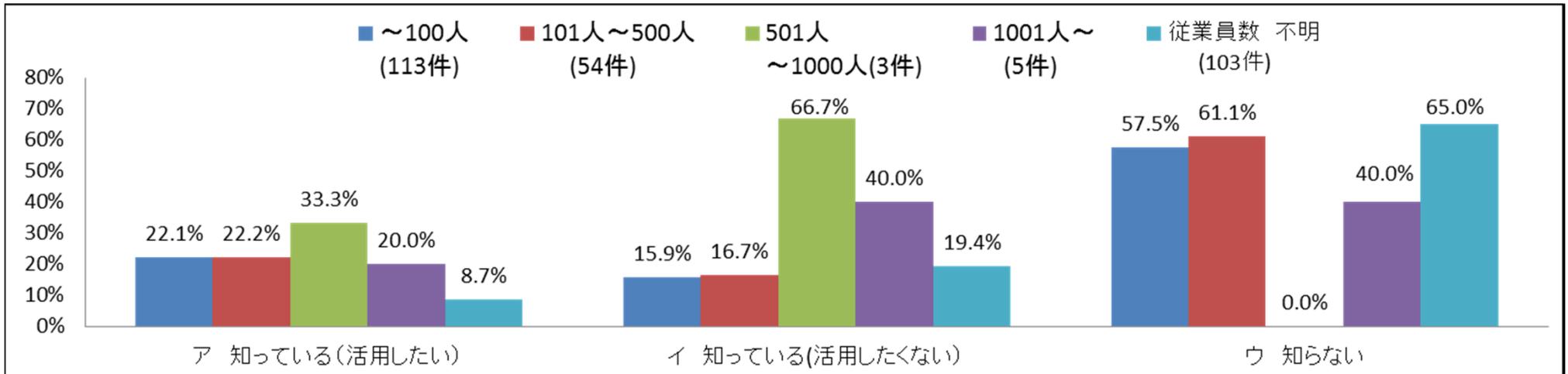
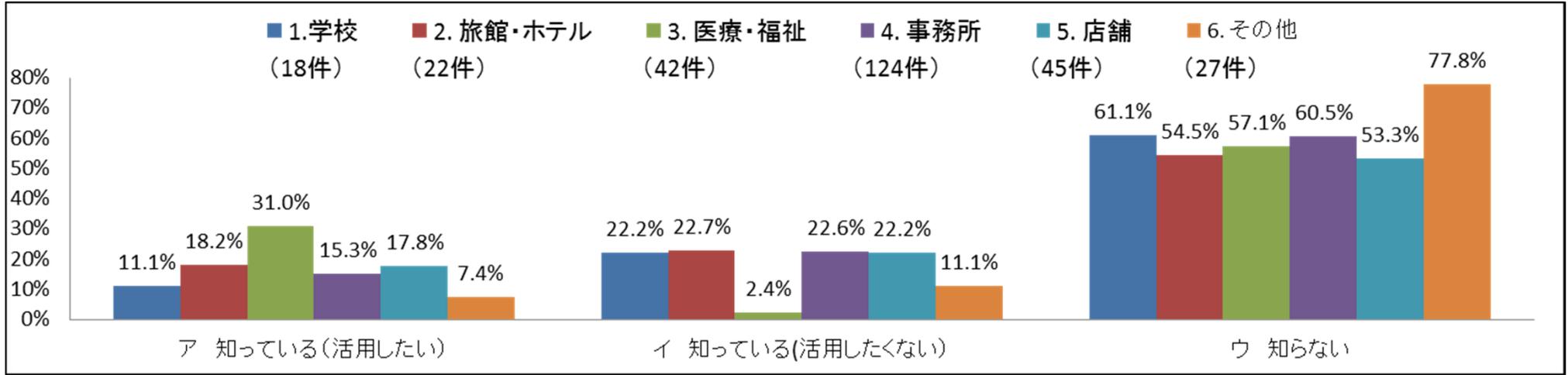
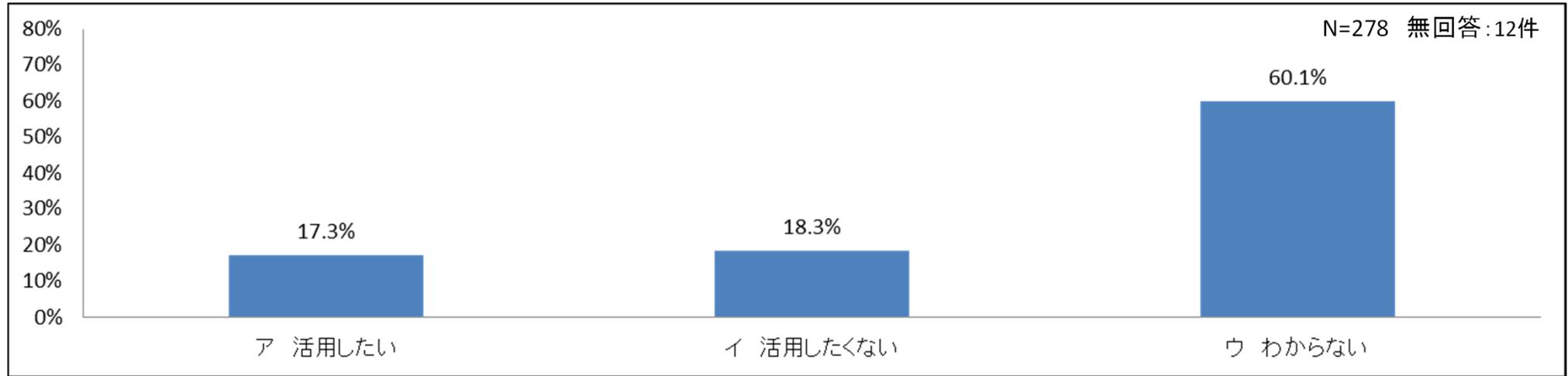


分類	業種別						従業員別				
	学校	旅館・ホテル	医療・福祉	事務所	店舗	その他	～100人	101人～500人	501人～1000人	1001人～	従業員数不明
回答数 (n)	18	22	42	124	45	27	113	54	3	5	103
ア すぐにでも導入を考えているのでBEMS事業所を紹介してほしい	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
イ 使用エネルギーの状況を知りたい、省エネ診断を受けたいので、エネルギー管理専門家の話を聞いてみたい	5.6%	0.0%	11.9%	3.2%	6.7%	0.0%	6.2%	3.7%	0.0%	0.0%	3.9%
ウ とりあえずBEMSの説明を受けてみたい	11.1%	18.2%	14.3%	9.7%	13.3%	11.1%	19.5%	11.1%	33.3%	0.0%	3.9%
エ BEMSには関心がない	0.0%	4.5%	4.8%	2.4%	0.0%	3.7%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%

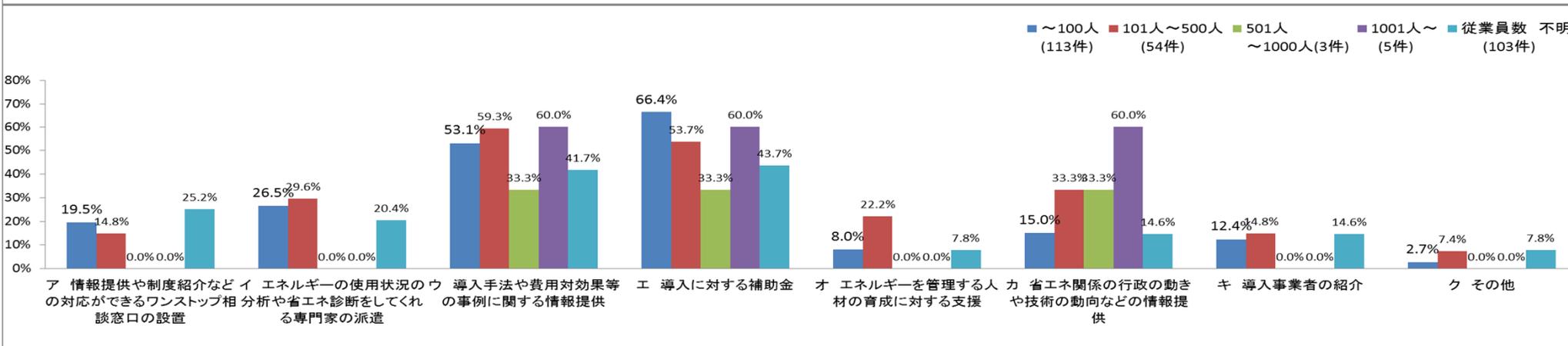
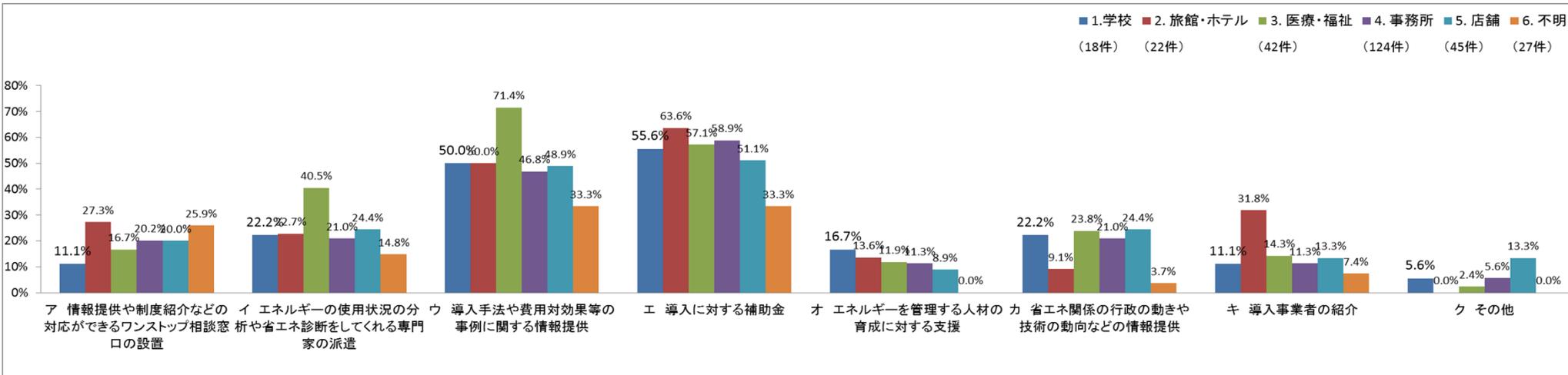
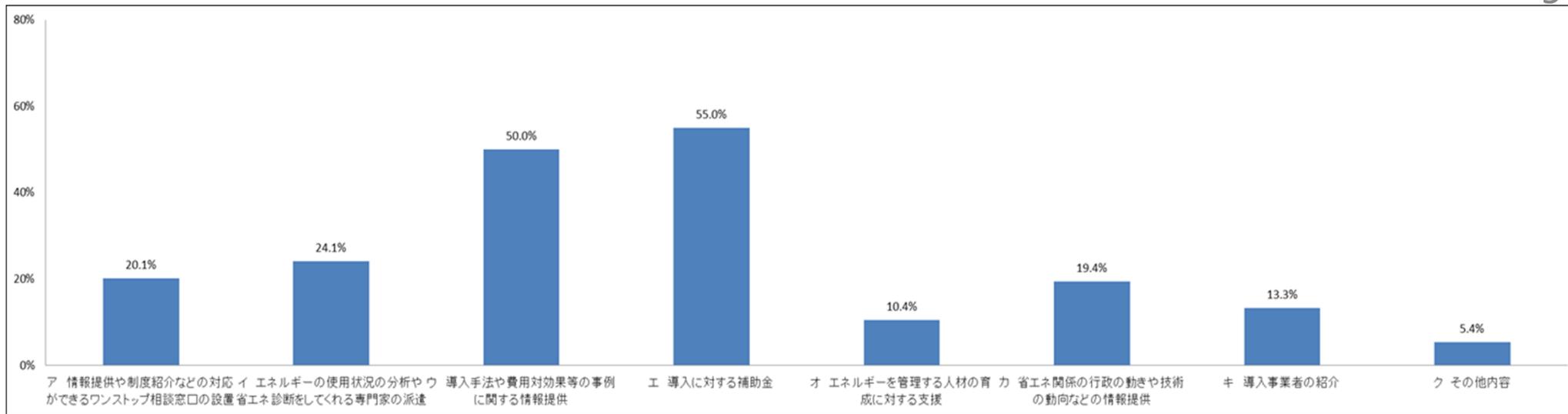
京都府のBEMSの導入補助金制度の活用意向及び実績



エネルギー管理専門家派遣制度の利用意向



希望する制度(複数回答)



業種	課題
1.学校	<ul style="list-style-type: none">・教員や学生の非効率な教室の利用がある。 (例:大きな講義室等で、少数の学生が空調機を使用して自習している。学生が勝手に大教室に入り込みエアコンを急速冷房にして電源を切らずに退室する。教員が個人研究室のエアコンの電源を切り忘れたまま帰宅するなど)・屋上緑化等ハード面での取組みが難しい。
2.旅館 ホテル	<ul style="list-style-type: none">・節ガスの取組ができていない。・省エネの取組と顧客サービスとの兼ね合いが難しい。 (例:快適さを求めると冷暖房費を削減できない、など)・客による無駄なエネルギー使用がある。

業種	課題
3.医療 福祉	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 省エネがサービス低下となる恐れがある。(猛暑日における空調の適切な温度設定など) ▪ 冬季の乾燥対策にエネルギーが必要であること。 ▪ 体感温度の個人差があり、画一的な室温設定が難しい。
4.事務 所	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 節電対策方法の選定が難しい。 ▪ 古い建築物の適温管理が難しい。 ▪ お客様(施設利用者)の節電に対する理解、協力を得る方法が難しい。 ▪ 自社ビルでないため、省エネに積極的に関われない。 (単独でBEMSは導入できない。)

業種	課題
5.店舗	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 木造建築における空調機器の音の問題がある。 (事例: 省エネに伴い外付機の音が大きくなった) ▪ 店舗内の省エネの調整に難しさがある。 ▪ 建屋の断熱素材の選択が難しい。 ▪ 古い設備について熱効率の良し悪しが判断できない。
共通	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 省エネに対する意識統一が図れない。 ▪ 省エネ機器の導入資金が足りない。 ▪ 7月の電力消費量のコントロールが難しい。 ▪ 古い設備について熱効率の良し悪しが判断できない。 ▪ LED化のタイミングの判断が難しい。 ▪ (省)エネルギーに対する知見が不足している。

内 容	
メリット	<ul style="list-style-type: none">・使用場所(建物)ごとに、また時間ごとに使用量が把握できるため省エネの対策が取りやすい。・「見える化」による省エネ意識の向上や動機づけができた。・電力費用の削減に貢献した。
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・照明と空調が集中管理となり、職員にとって、各スイッチの制御箇所や機能がわかりづらくなった。・自動制御でないシステムを導入したので、手動で頻繁に空調のON/OFFをしなければならなくなった。・夏季は空調が停止した場合、暑いと感ずることがある。・設定のエネルギー使用量を越える都度、調節等の手間がかかる。・初期導入のコストが高い。(費用対効果が見えない)

アンケート分析結果のまとめ

- ✓ 省エネ・節電に関しては、一部の分野(事務所・店舗, 従業員数100人以下の事業所)において、取組があまり進んでいないため、これらの分野に対しての支援が重要となる。
- ✓ BEMSの認知度に関しては、事務所・店舗の分野がまだまだ低いため、この分野へ集中的にPRすべきである。
- ✓ 希望する制度に関しては、補助金や情報提供の要望が多くあるため、これらの内容についての積極的な周知・啓発を進めていく必要がある。
- ✓ BEMSの導入に関しては、業種ごとに課題が異なるため、各業種の特色に応じたBEMSシステムの提案、同業種の事例が普及のカギといえる。